



板倉 克典 議員
日本共産党弥富市議団

問 「弥富子ども計画」の考えは

答 県の大綱に基づき策定する

問 安全防災メールの犯罪情報は、どのような流れで市民に届くのか。

答 (市民生活部長) 「パトネットあいち」から配信されたものを確認し、安全防災メールに転載、配信。

問 犯罪情報の事案が3日後に届く伝達速度は適切か。

答 速さが重要なので速やかに対応していく。

問 保護者が登録する各学校の防犯メールと、安全防災メールの不審者情報は内容が連携しているか。

答 情報連携は行っていない。
問 なぜ同じ案件の犯罪情報が連携して発信できないか。

答 児童生徒等の安全を脅かす緊急情報は情報連携していく。

問 公園内で遊ぶ子どもに対し、騒音などの苦情にはどの部署が対応しているか。

答 (建設部長) 都市整備課。

問 公園で遊んでいて「うるさい」と近所の人に言われたという声に、どの部署が対応しているか。

答 相談は無いが、都市整備課が適切かつ慎重に対応する。

問 将来の「弥富子ども計画」について市の考えは。

答 (健康福祉部長) 今後、示される県の大綱に基づき「弥富子ども子育て支援事業計画」と一体的に策定していく。



問 令和3年度の河床測量結果は

答 問題ないが引き続き監視する

問 尾張大橋付近の堤防対策と河床について以下を問う。

問 堤防部分の土のう設置計画をなぜやめたか。

答 (総務部長) アクリル板を設置し、緊急時の作業時間の短縮を図るため。

問 堤防部分のアクリル板の厚みは。

答 (建設部長) 2cm。

問 アクリル板の強度を示すデータはあるか。

答 許容たわみ量100mmに對したたわみ量67・8mm。許容曲げ応力度37N/mmに對し曲げ応力度20・3N/mm。



▲尾張大橋付近堤防のアクリル板

問 土のうで対応する計画から急転直下、計画が変わった印象だが経緯は。

答 (総務部長) 時間短縮のためには、土のうの設置個数を少なくすることが有効。

問 他県で堤防部分にアクリル板施工の事例はあるか。

答 (建設部長) 東京都板橋区の新河岸川や神奈川県横浜市石崎川。

問 令和3年に行われた河床の測量結果は。

答 最大50cm程度の堆積と、最大50cm程度の低下が見られた。治水上の問題はないが引き続き河川巡視など監視する。